

教育福祉常任委員会

《中郷行政区》

議会で取り上げる&調査・研究が必要

1. 社会保障の確立

社会保障として、「医療・年金・介護」と大きく3つを捉え、当委員会として介護の部分に対し、現状の分析を行い、継続的に調査をしていきます。

また、特別養護老人ホームの入所について、入所待機者がいる現状があることから、その解消に向けて、行政としてどのような対策が図れるのかを研究し提言できるよう取り組んでいく。

2. 商店が無い

高齢の方が、運転免許の返納や地域にお店が無いことから少し遠くのお店まで足を運ばなくてはならない現状にある中で、デマンド交通の充実や、移動支援の在り方など、高根沢の現状に伴った「地域包括ケアシステム」の構築に向け調査・研究を図り、行政への提言と町民の皆様に御理解を図っていただけるよう取り組む。

調査・研究

1. 集落の過疎化

懇談会での話の中に、高齢者とのコミュニケーションが気薄になってきたことや、子ども達との触れ合いの充実を図りたいこと、また、学校関係者との協議が必要との声があり、少子化対策や次年度から各小中学校で始める「コミュニティ・スクール みんなの学校」の中で、地域と学校の関わり合いを充実させ、子ども達と地域住民が、学校という媒体を上手に活用しながら、地域コミュニティの向上や郷土愛の醸成を図れる仕組み作りを調査・研究していきます。

《北小学校結社》

町へ提言&議会で取り上げるべき内容

1. 独居老人

この内容については、対策の強化を図ってほしいとの声があり、町では「見守りネットワーク事業」を行っており、新聞店や金融機関、水道検針事業者などが日頃の業務の中で異変に感じる事があった場合、行政や地域包括支援センターに連絡し、確認や適切な支援のアドバイスを行う仕組み作りが出来ており、また登録制ではあるが「見守り収集事業」において、ゴミ出しが困難な場合に、シルバー人材センターの方がゴミ収集に来ながら、見守り活動を行っています。

このような事業を更に充実できるよう行政に提言すると共に、行政のみならず地域や関係事業者などが連携して支え合う「地域包括ケアシステム」の構築に向け調査・研究をし、行政への提言と町民の皆様に御理解を図れるよう取り組む。

議会で取り上げる&調査・研究が必要

1. 自治・教育

地域に若い人が見当たらないという話があり、当委員会として教育の観点から、地域に住み続けるうえで、「郷土愛」の醸成を図り、また人と人との繋がりの中で共助社会の再構築をし、住み続けられる地域づくりにつなげていくため、次年度から各小中学校で始める「コミュニティ・スクール みんなの学校」の中で、学校という媒体を上手に活用しながら、子ども達と地域住民が関わり合える形を構築できるかを研究し、教育の場から地域自治について課題克服できるよう考えていきます。